

石木ダム反対集会に500人

パレードも「決めるのは市民」



石木ダム建設反対を訴え、佐世保市の中心商店街をパレードする集会参加者たち

佐世保

県と佐世保市が川棚町に計画する石木ダム事業に反対する市民団体が18日、佐世保市で「今こそ考えよう石木ダムと強制収用く未来を決めるのは私たち」と題する集会を開き、約500人が会場を埋めた。終了後には参加者有志が「石木ダム反対」「強制収用反対」を訴えながら中心商店街をパレードした。

集会では、米国でのダム撤去への活動を描いたドキュメンタリー映画「ダムネーション」を観賞。続いて、

石木ダム建設に反対する地権者を支援する弁護団が利水、治水の両面からダム計画の問題点、疑問点を解説し「疑問点をただしているのに県は説明会も開かず、強制収用に向けた調査を進めようとしている」と批判した。

馬奈木昭雄弁護団長は「市民、県民のためにもつとほかに必要な使い道があるはずの税金がダムのために消えていく。それこそが大きな無駄」と指摘。「石木ダムを考えることは、私たちの暮らしに税金がどう使われるべきかという議論をすること。そして、決めるのは市民の意思だ」と呼び掛けた。

(阪口由美)